

道東から出発の

# 新ボランティア 紹介

平成28年度  
1次隊

青年海外協力隊

音地が好きなので、  
現地の音楽を紹介されたり、  
日本の音楽を触れたいと  
考えています。



**齋藤 昌義 さん**  
■出身:函館市  
■派遣国:バヌアツ共和国  
■職種:数学教育

- ① バヌアツ共和国の教員養成学校で数学教育に携わる予定です。現地の小学校の先生に算数や数学の授業、技術を提供します。
- ② 現地の人と楽しみながら、共に成長したいです。

- ① 現地での活動内容
- ② 活動の抱負・目標
- ③ 2年間でやりたいこと

青年海外協力隊

現地の人が、動物とたくさん触れ合いたいです。



**長峰 千尋 さん**  
■出身:京都府(※中標津から出発)  
■派遣国:モンゴル  
■職種:数学教育

- ① 中学、高校生、地域の子供たちに数学を教えます。
- ② みんなが楽しめるような数学の授業をしたいです。

## 帯広畜産大学からパラグアイにグループ派遣されます!



**内野 江香 さん (左)**  
目標 様々な業種の人達も巻き込むように常に積極性を忘れない。  
したいこと 日本でPRができるような任国の「技」(伝統手芸や楽器等)の習得。

**小林 夏美 さん (中央左)**  
目標 日々挑戦。日本の真裏にある国で自分にできる精一杯を。  
したいこと 現地語のグアラニー語を少しでも話せるようになりたい。

**千葉 桃子 さん (中央右)**  
目標 任国では意欲的に活動し、日本の「酪農」を見つめ直したいです。  
したいこと 任国でも日本の文化に触れられるような機会を作りたいです。

**恵木 徹 さん (右)**  
目標 現地の酪農家の生活水準が向上するように活動します。  
したいこと 多くの友人を作り任期終了後も連絡を取り合う仲間を作ります。

研修員  
受入



地元のお母さんと伝統菓子作り体験



マイさん(2012年 研修参加)

## ベトナム フォローアップ調査

帰国した研修員は果たして日本で学んだことを自分の国で生かしているのでしょうか?そのことを知るため、エコツーリズムを学ぶ研修に参加した4名に会いにベトナムへ行きました。調査の結果、全員が日本での気づきを大いに生かしていることがわかりました。  
例えば、①アクティビティの内容が不十分、②少数民族への収益の分配が不十分、といった問題意識を持っていた同国観光省のマイさんは、研修中に漁師のお母さんとちゃんちゃん焼を作って食べるプログラムを体験し、参加型プログラムの重要性に気づいたといいます。彼女は帰国後、「体験しながら学べるアクティビティ」を盛り込んだ提案書を地方政府に提出するなど、試行錯誤しながら取り組んでいました。  
JICAでは、研修員受入事業を通じ、途上国が抱える課題を解消するための人材育成にこれからも取り組んでいきます。

中小企業  
海外展開  
支援



完成した「旋回噴流式オゾン酸化システム」スリランカにて

## 中小企業の汚水処理技術を スリランカの乳製品加工場へ

株式会社ヒューエンス(帯広市)は、JICAの事業を活用して、2015年10月から、スリランカで「旋回噴流式オゾン酸化法による汚水処理技術の普及・実証事業」を行っています。日本国内で特許を取得しているこの汚水処理技術は、旋回噴流式攪拌技術により、汚水をかき混ぜて、高濃度オゾンと汚水の反応を高めることで、効率的に有機物を酸化させて分解するもので、従来の処理方法と比べて、汚泥の発生量を約10分の1に低減できることが大きな特長です。近年急速に経済成長が進むスリランカでは、環境に配慮した経済発展が掲げられており、工場では有害排水の適切な処理が義務付けられています。しかし実際には、排水処理は不十分で、環境対策の強化が課題となっています。本事業は、国営企業ミルコ社の乳製品加工場において、汚水処理場の機能強化を図ることで、法定の環境基準を達成することを目指しています。汚水処理設備は、2016年3月に着工し、4月に完成。現在、稼働中です。

**JICA**  
ギャラリー展示の  
お知らせ

毎日欠かせない食習慣は国によって大きな特色があります。普段日本で見慣れている台所も、国が違えばその様子は違うものとなり、キッチンツールも様々!各国の調理方法をこの機会に見てみませんか?また、日本にいながら外国の雰囲気を楽しむませんか?

テーマ:世界のキッチン  
期間:2016年6月30日~9月12日まで

ロビー展示「その食べものどこからきてるかな?」も開催中!  
(7月3日~8月25日まで)



改良かまどで料理するパナマのお母さん



**7/3(日)  
開催!**

**世界のともだち**

夏の国際協力・交流イベント「世界のともだち」を今年も開催します。世界の料理が食べられる屋台やステージパフォーマンス、研修員とのゲームなど盛りだくさんです。ぜひご来場ください!

**JICALレストラン**

営業時間 昼 11:30~14:00 夜 17:30~20:30  
(ラストオーダー30分前)、年中無休

★7~9月の期間限定メニュー★

★シャンカオスエ ..... 700円

ミャンマー料理を食べる熊本地震の被災者を支援しませんか? 同国に赴任経験のある熊本出身の佐藤職員のおすすめです。50円が国際協力NGOセンター(JANIC)実施の「熊本地震緊急支援まもため募金」にあてられます。



★トムヤム冷麺 ..... 690円

昨夏の人気メニューがパワーアップ!今年はエビも加わり、さらにパクチーペーストでアクセントをつけました。ペパーリーフのトッピングが涼やかな一品です。



**新スタッフ紹介**

5月より草の根技術協力事業を担当しております堤絵里です。北海道に住むのは初めてなので、美しい自然と美味しい食材がいっぱいの帯広での新生活に期待大です!そんな帯広の魅力を活かして、十勝と途上国の発展に貢献できるような草の根事業活動を行っていきけるよう頑張ります。どうぞよろしくおねがいします。



堤 絵里

3月中旬から勤務しています福島です。スイーツ王国帯広ということで、クランベリーのスイートポテト、柳月のケーキ、お店の名前は分かりませんが帯広駅エスタ内のおはぎなど堪能しています。そして、毎週末には外食を楽しんでいます。今狙っているのは蟹いろいろな種類を食べてみたいと思います。美味しいお店の情報を是非教えてください。もちろん業務も頑張りますので、どうぞよろしくおねがいします。



福島 ひろ美

3月末にブラジル・サンパウロより着任しました。真っ白い雪の大地に降り立ち、お会いする皆さんすべてが郷土愛にあふれていることにまず驚きました。センタースタッフも優しく笑顔での仕事ぶり。緊張感とともにわくわく感をもって仕事にあたります。途上国も道東も元気になる国際協力!今年センター設立20周年、さらに地域に愛されるセンターを目指します。



遠藤 浩昭

5月から開発教育を担当することになりました松坂と申します。皆様が興味を持てるような途上国の話題を提供し、少しでも北海道と途上国を繋げることができればと考えておりますので、宜しくお願いいたします。



松坂 栄樹

**JICA北海道(帯広)研修コース発表会一般公開のお知らせ**

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広くご理解いただくため、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

◆2016年度 夏のスケジュール ◆(定員5名・先着順)

日程	研修コース名	内容	場所	締切り
7/28(木)	持続的農業生産と環境保全のための土壌診断技術	研修成果	JICA北海道(帯広)	7/25
8/18(木)	気候変動に対する順応的流域管理(適応策)「洪水対策と生態系保全」	研修成果	JICA北海道(帯広)	8/16
8/30(火)	地域住民の参加による多様な森林保全	参加国紹介	JICA北海道(帯広)	8/25

※お申込は締切日までお願いします(定員5名・先着順)  
※研修発表会は変更になることがあります(開催日が近くなりましたら、ホームページでご案内を致します)

**What's New!**  
JICA北海道(帯広)発  
インフォメーション  
お問合せ  
TEL0155-35-1210

**EVENT  
SEMINAR**

**地域交流事業の実施団体を募集します**

JICA研修員と地域住民の方との交流事業の企画・運営に携わってくださる地域の団体や個人の方を募集します。研修員と交流しながら、相互の文化・習慣や国際協力についての理解を深めませんか?

詳細はこちら↓  
<http://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/regional.html>

**JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2016募集**

★募集テーマ「未来の地球のために ~私たち一人一人にできること~」

●募集期間:6月10日(金)~9月12日(月) 当日消印有効  
たくさんのご応募お待ちしております!

詳細はこちら↓  
<http://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

**2016年度 教師海外研修(北海道地域-ミャンマー)**

「自分の目で見て心で感じたことを教材にしてみませんか?」  
国際理解教育に取り組んでいる教員の方々を対象とした、開発途上国における国際協力の現場や人々の生活を視察する研修プログラムです。事前事後研修や現地での取材・体験をもとに、オリジナル教材を作成します。 ●募集期間:7月~8月末 ●派遣:1月5日(木)~14日(土)

**国際協力レポーター2016募集中!**

JICAでは、日本のODA(政府開発援助)を支えて下さっている国民の皆様へ、ご自身の目で海外の国際協力の現場を直接視察していただき、現地の様子やそこで感じたことをご報告いただく「国際協力レポーター」事業への参加者を募集いたします。2016年度の派遣国はセネガルです。実際に国際協力の現場を視察してみませんか?

●募集期間:5月11日(水)~7月12日(火)  
●派遣人数:10名  
●詳細はこちら↓  
<http://www.jica.go.jp/hiroba/program/join/reporter/index.html>